

教科:(地歴)科目:(社会(歴史)) 対象:(第2学年 A組～ D組)

使用教科書:新しい日本の歴史(育鵬社)

使用教材:歴史の資料(正進社)

	指導内容 【年間授業計画】	科目の具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点 方法	予定 時数
4月	(4) 近世の日本 ウ 産業・交通の発達と町人文化 * 身近な地域の歴史:「江戸の繁栄と中山道」	・身近な地域を調べる活動を通して、地域への関心を高め、地域の具体的な事柄とのかかわりの中で我が国の歴史を理解するとともに、歴史の学び方を身に付ける。	◎関心・意欲・態度 ○資料活用 の技能 ・活動状況の観察 ・ワークシートの分析	6
5月	エ 幕府の政治改革と幕府政治の行き詰まり	・社会の変動や欧米諸国の接近に対応して行われた幕府の政治改革と政治の行き詰まりについて理解する。	◎資料活用 の技能 ○知識・理解 ・活動状況の観察 ・定期考査 ・ワークシートの分析	8
6月	*「近世の日本」の特色をとらえる学習 (5) 近代の日本と世界 ア 欧米諸国の発展とアジア進出	・「近世の日本」において学習した内容を活用してその時代を大観し表現する活動を通して、各時代の特色をとらえる。 ・市民革命や産業革命、アジア諸国の動きなどを通して欧米諸国が近代社会を成立させ、アジアへ進出したことを理解する。	◎関心・意欲・態度 ○思考・判断・表現 ・作品、ワークシートの分析 ・活動状況の観察 ◎知識・理解 ・定期考査 ・活動状況の観察	8
7月	イ 日本の開国と明治維新	・開国や明治維新の経緯のあらましを理解するとともに、新政府の諸改革によって、近代国家の基礎が整えられたことに気付く。	◎思考・判断・表現 ○知識・理解 ・定期考査 ・ワークシートの分析 ・活動状況の観察	6

教科:(地歴)科目:(社会(歴史)) 対象:(第2学年 A組～ D組)

使用教科書:新しい日本の歴史(育麟社)

使用教材:歴史の資料(正進社)

	指導内容 【年間授業計画】	科目の具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点 方法	予定 時数
8 ・ 9 月	イ 日本の開国と明治維新	・開国や明治維新の経緯のあらましを理解するとともに、新政府の諸改革によって、近代国家の基礎が整えられたことに気付く。		6
10 月	ウ 近代国家の発展と対外関係	・急速に近代化を進めた我が国の国際的地位の向上と大陸との関係のあらましを理解する。	◎思考・判断・表現 ○知識・理解 ・定期考査 ・活動状況の観察	10
11 月	エ 近代産業の発展と近代文化の形成 オ 第一次世界大戦と日本の動き	・我が国の近代産業が産業革命を経て発展したことと、その中での国民生活の変化について理解する。 ・第一次世界大戦開戦前後から戦後の国際協調が進む時期の我が国の動きと世界の動きのあらましを理解する。	◎知識・理解 ・定期考査 ・活動状況の観察 ◎知識・理解 ○思考・判断・表現 ・定期考査 ・活動状況の観察	8
12 月	カ 第一次世界大戦と日本の動き キ 第二次世界大戦と日本の動き	・第一次世界大戦開戦前後から戦後の国際協調が進む時期の我が国の動きと世界の動きのあらましを理解する。 ・世界の歴史を背景にして昭和初期から第二次世界大戦終結までの我が国のあらましと、大戦が人類全体に惨禍を及ぼしたことを理解する。	◎知識・理解 ○思考・判断・表現 ・定期考査 ・活動状況の観察	6

教科:(地歴)科目:(社会(歴史)) 対象:(第2学年 A組～ D組)

使用教科書:新しい日本の歴史(育鵬社)

使用教材:歴史の資料(正進社)

	指導内容 【年間授業計画】	科目の具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点 方法	予定 時数
1 月	カ 第二次世界大戦と日本の動き	・第二次世界大戦後、国際社会に復帰するまでの我が国の民主化と再建の過程や国際社会への参加について、世界の動きと関連させて理解する。		6
2 月	*「近代の日本と世界」の特色をとらえる学習 (6)現代の日本と世界 ア 戦後の日本の改革と二つの世界	・「近代の日本と世界」において学習した内容を活用してその時代を大観し表現する活動を通して、各時代の特色をとらえる。 ・第二次世界大戦後、国際社会に復帰するまでの我が国の民主化と再建の過程や国際社会への参加について、世界の動きと関連させて理解する。	◎思考・判断・表現 ○知識・理解 ・作品、ワークシートの分析 ・活動状況の観察 ◎知識・理解 ○資料活用の技能 ・定期考査 ・活動状況の観察	8
3 月	イ 高度経済成長以降の日本と世界 *「現代の日本と世界」の特色をとらえる学習	・高度経済成長以降の我が国の動きを世界の動きと関連させてとらえる。 ・「現代の日本と世界」において学習した内容を活用してその時代を大観し表現する活動を通して、各時代の特色をとらえる。	◎知識・理解 ・定期考査 ・ワークシートの分析 ・活動状況の分析 ◎思考・判断・表現 ○関心・意欲・態度 ・作品、ワークシートの分析 ・活動状況の観察	6